

日本農業気象学会2014年全国大会 オーガナイズドセッションプログラム

SA「陸域メタンフラックスの評価のための連携研究に向けて ～現状の課題共有の先にある飛躍～」		3月17日 12:30 – 14:45 A会場
オーガナイザー: JapanFlux[平野高司(北大)・植山雅仁(大阪府大)・齊藤誠・平田竜一(環境研)] コメンテーター: 波多野隆介(北大)・宮田明(農環研)		
SA-1	プロセスモデルを用いたメタン収支の広域評価	伊藤昭彦(国環研)
SA-2	チャンバー法による地表面メタンフラックス観測についてのもろもろの話	伊藤雅之(京大東南研)
SA-3	我が国の森林土壌における年間メタン吸収量の推定	森下智陽・橋本昌司・石塚成宏・阪田匡司・三浦 寛・金子真司・高橋正通(森林総研)
SA-4	渦相関法および多点自動開閉チャンバー法を用いたチベット高山湿地生態系におけるCH ₄ /CO ₂ 収支の評価	梁 乃申・寺本宗正(国環研)・賀 金生・于 凌飛(北京大)・杜 明遠(農環研)
SA-5	微気象学的手法を中心とした生態系スケールでのメタン交換の解明	岩田拓記 ¹ ・原園芳信 ² ・小杉緑子 ¹ ・植山雅仁 ³ ・坂部綾香 ¹ ・永野博彦 ² ・奥見智佳 ¹ ・間野正美 ⁴ ・小野圭介 ⁵ ・高橋けんし ¹ ・宮田 明 ⁵ (¹ 京大, ² アラスカ大, ³ 大阪府大, ⁴ 千葉大, ⁵ 農環研)
SA-6	全球メタンフラックス推定 - 温室効果ガス観測技術衛星GOSATから見えてきたもの -	Heon-Sook KIM ¹ ・○齊藤 誠 ¹ ・佐伯田鶴 ² ・Dmitry BELIKOV ³ ・伊藤昭彦 ¹ ・森野 勇 ¹ ・内野 修 ¹ ・吉田幸生 ¹ ・横田達也 ¹ ・Shamil MAKSYUTOV ¹ (¹ 環境研, ² JAMSTEC, ³ 極地研)

SB「農耕地におけるN ₂ Oフラックス研究の最新動向」		3月17日 14:55 – 17:10 A会場
オーガナイザー: JapanFlux [宮田 明・小野圭介(農業環境技術研究所)]		
SB-1	草地・とうもろこし畑からのN ₂ O放出の時間変動解析: 突発的なN ₂ O放出	清水真理子・Li MENGJIE・波多野隆介(北大)
SB-2	水田および水田転換畑からのN ₂ Oフラックスの特徴 ～北海道空知地域における研究事例～	永田 修(北海道農業研究センター)
SB-3	有機質資材を施用した農耕地土壌からのN ₂ O排出量とその排出係数の評価 - 全国10県の農業試験機関における一斉調査 -	佐野智人 ¹ ・仁科一哉 ^{1,2} ・大浦典子 ¹ ・須藤重人 ¹ ・布山美恵 ³ ・熊谷勝巳 ³ ・矢野真二 ³ ・大越 聡 ⁴ ・佐藤睦人 ⁴ ・藤田 裕 ⁵ ・飯村 強 ⁵ ・白鳥 豊 ⁶ ・古川勇一郎 ⁶ ・恒川 歩 ⁷ ・菅野淳夫 ⁷ ・西本浩之 ⁷ ・辻 正樹 ⁷ ・蓮川博之 ⁸ ・高橋有紀 ⁸ ・鈴江康文 ⁹ ・黒田康文 ⁹ ・平山裕介 ¹⁰ ・山田寧直 ¹⁰ ・水上浩之 ¹¹ ・城 秀信 ¹¹ ・上園一郎 ¹² ・古江広治 ¹² (¹ 農環研, ² 国環研, ³ 山形農総セ, ⁴ 福島農総セ, ⁵ 茨城農総セ, ⁶ 新潟農総研, ⁷ 愛知農総研, ⁸ 滋賀農総セ, ⁹ 徳島農総セ, ¹⁰ 長崎農総セ, ¹¹ 熊本農総セ, ¹² 鹿児島農総セ)
SB-4	室内制御実験下における土壌のN ₂ O・NO・CO ₂ 発生量の連続測定	米村正一郎(農環研)・西村誠一(中央農研)
SB-5	微気象学的手法による一酸化二窒素のフラックス測定-現状と課題-	宮田 明・小野圭介(農環研)

SC「園芸工学研究へのLED利用」		3月17日 17:20 – 19:35 A会場
オーガナイザー: 富士原和宏(東大院農)		
	主催部会長挨拶	後藤英司(千葉大院園芸)
	開催趣旨説明	富士原和宏(東大院農)
SC-1	農作物の光害 - 光害の現状と新しいLED照明による防止対策 -	山本晴彦(山口大農)
SC-2	LEDを用いる温室補光と人工光栽培の最新動向	後藤英司(千葉大院園芸)
SC-3	LED利用による葉菜類の有用成分蓄積技術の開発	庄子和博(電中研)
SC-4	研究用LED光源システムと植物栽培のためのLED光照射法	富士原和宏(東大院農)
	総合質疑・総合討論 - 農業気象学研究者が参画するLED利用研究の方向性 -	

SD「寒地における施設園芸の可能性」		3月17日 14:55 – 17:10 B会場
オーガナイザー: 鮫島良次(北大)・生方雅男(道総研)・濱寄孝弘(農研機構北海道農研)		
SD-1	北国でハウスをどう使うか	岡田益己(岩手大)
SD-2	積雪寒冷地における施設園芸の可能性を広げる技術シーズ - ヒートポンプ・連棟ハウス・地中伝熱 -	古野伸典(山形県庄内総合支庁農業技術普及課産地研究室)
SD-3	温熱環境と省エネルギーから見た北海道の温室	立松宏一(道総研北方建築総合研究所)・生方雅男(道総研花・野菜技術センター)
SD-4	寒冷地施設園芸への地中熱ヒートポンプ利用	長野克則(北大院工)

SE「農業における気象データを活用した意思決定支援システムの可能性」		3月17日 17:20 – 19:35 B会場
オーガナイザー: 白旗雅樹(道総研)・廣田知良(農研機構北海道農研)・鮫島良次(北大) コメンテーター: 川合拓男(芽室町畑作農家)・前塚研二(十勝農協連農産課)		
	開催趣旨説明	白旗雅樹(道総研)
SE-1	北海道における気象データを活用した病害虫発生予察の現状と課題	清水基滋(道総研中央農業試験場)
SE-2	気象データを活用した牧草の乾燥シミュレーション	松岡延浩(千葉大院園芸)
SE-3	北海道における農業気象情報発信の取り組み	佐藤隆光(日本気象協会北海道支社)
	総合質疑・総合討論	

SF「ワイン産地としての北海道空知地域の魅力と将来展望」		3月20日 16:30 – 19:30 A会場
オーガナイザー: 永田 修・廣田知良(農研機構北海道農研) コメンテーター: 小野 悟(北海道農政部) 共催: 日本農業気象学会温暖化フォーラム・ワインチャレンジシンポジウム企画委員会 後援: 空知総合振興局		
SF-1	北海道空知でのワイン生産拡大は何を意味するか	小林和彦 (東京大学)
SF-2	空知地域のヴィンヤードを取り巻く気象・土壌環境	丹羽勝久 ((株)スコージャ)
SF-3	北海道の醸造用ブドウ産地における気象変動の影響と産地個性の追求	平川敦雄 (北海道ワイン株式会社)
SF-4	ワインを北海道の文化へ	滝沢信夫 (TAKIZAWA WINE)